

2021年11月期
第2四半期
決算補足説明資料

2021.7.14

ティアンドエス株式会社
(東証マザーズ 4055)



T&S
Technology & Service

2021年11月期 第2四半期

ハイライト	p. 3
決算概要(2021年11月期 第2四半期)	p. 4
営業利益の状況	p. 6
カテゴリー別売上高	p. 7
取引先別売上高	p. 8
四半期別売上高	p. 9
主要取引先動向	p. 10
エンジニアの採用状況	p. 11
損益計算書	p. 12
貸借対照表	p. 13
業績予想進捗率	p. 14

(今期のテーマ)

証明への第一歩

1 過去最高収益を達成 (過去同四半期比)

売上高	: 12億86百万円	(15.9%増↑、増加額:1億76百万円)	(前年同四半期比)
営業利益	: 1億72百万円	(4.6%増↑、増加額:7百万円)	(同)
経常利益	: 1億77百万円	(6.1%増↑、増加額:10百万円)	(同)
四半期純利益	: 1億24百万円	(10.6%増↑、増加額:11百万円)	(同)

2 売上高:全カテゴリーで大幅に伸長

伸び率では先進技術ソリューションカテゴリーが最も大きく伸長
売上高:72百万円(48%増、増加額:23百万円) (前年同四半期比)

3 従業員への業績連動賞与を新設

通常賞与の上乗せ分として、**25百万円を引当計上**
これによる売上原価及び販管費増を吸収し、前年同四半期比7百万円の営業利益増

4 共同研究契約の更新 (2021年4月)

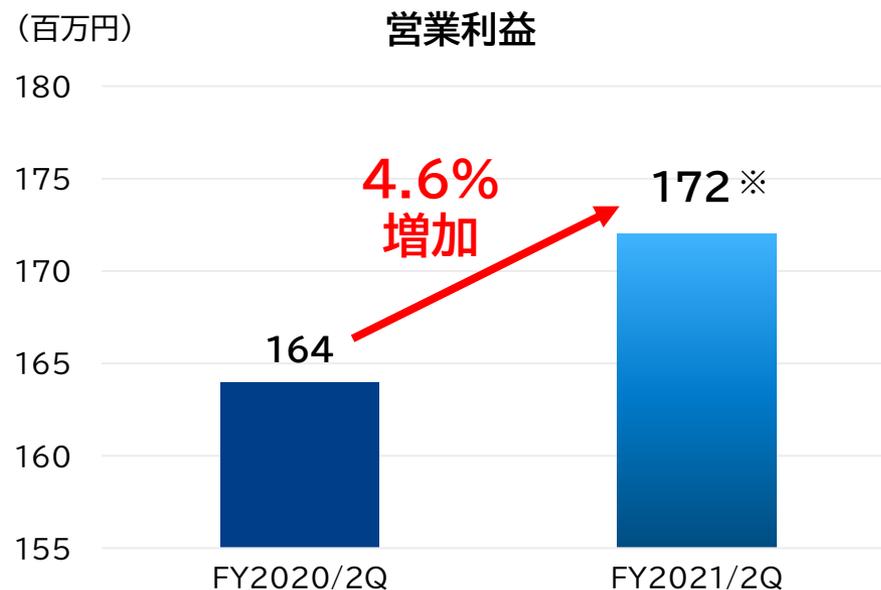
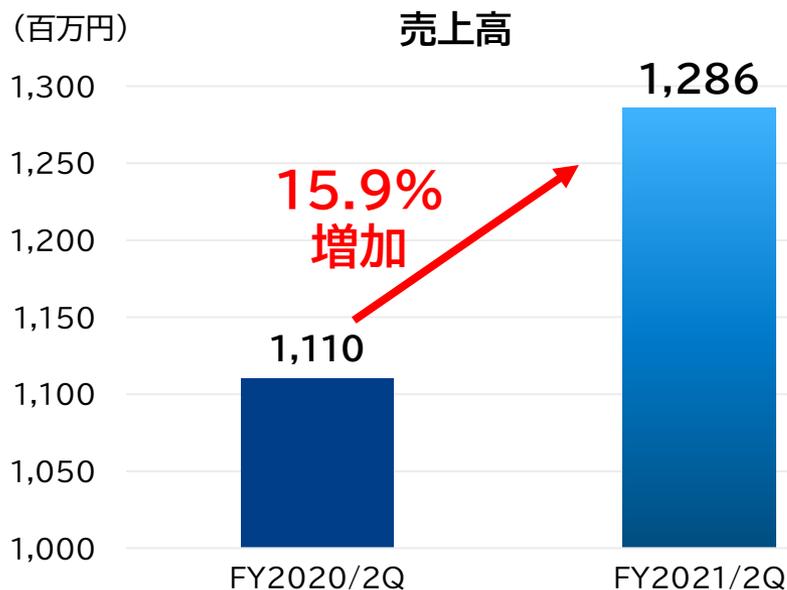
国立大学法人東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センター(CIES)との
共同研究契約について当期も延長更新。

決算概要

2021年11月期 第2四半期

過去最高収益を達成 (過去同四半期比)

売上高	: 12億86百万円	(15.9%増↑)	増加額: 1億76百万円	(前年同四半期比)
営業利益	: 1億72百万円	(4.6%増↑)	増加額: 7百万円	(同)
経常利益	: 1億77百万円	(6.1%増↑)	増加額: 10百万円	(同)
四半期純利益	: 1億24百万円	(10.6%増↑)	増加額: 11百万円	(同)

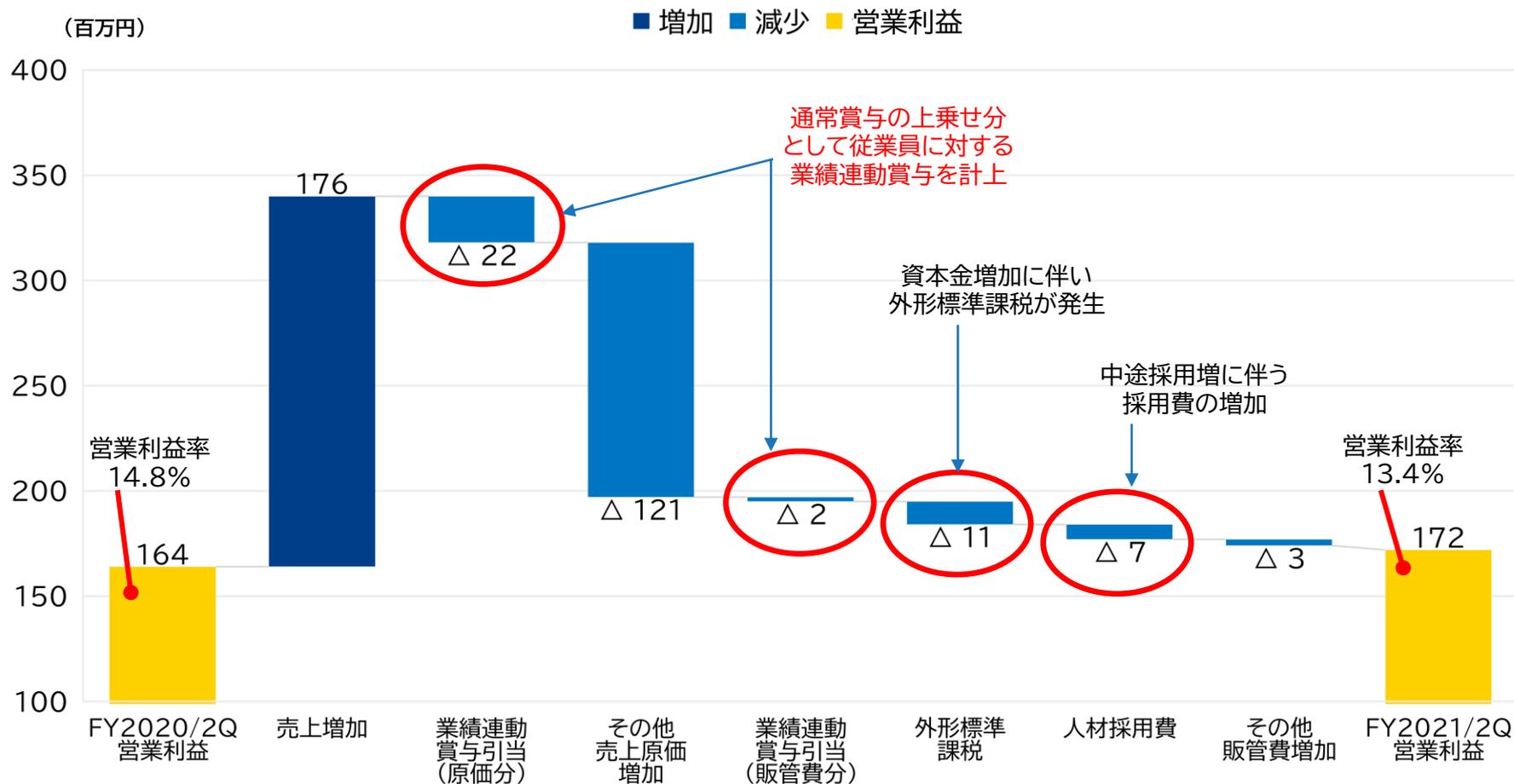


※好業績に鑑み、従業員向けの業績連動賞与を25百万円計上しています。

営業利益の状況(FY2021/2Q)

販管費増を吸収し、7百万円の営業利益増

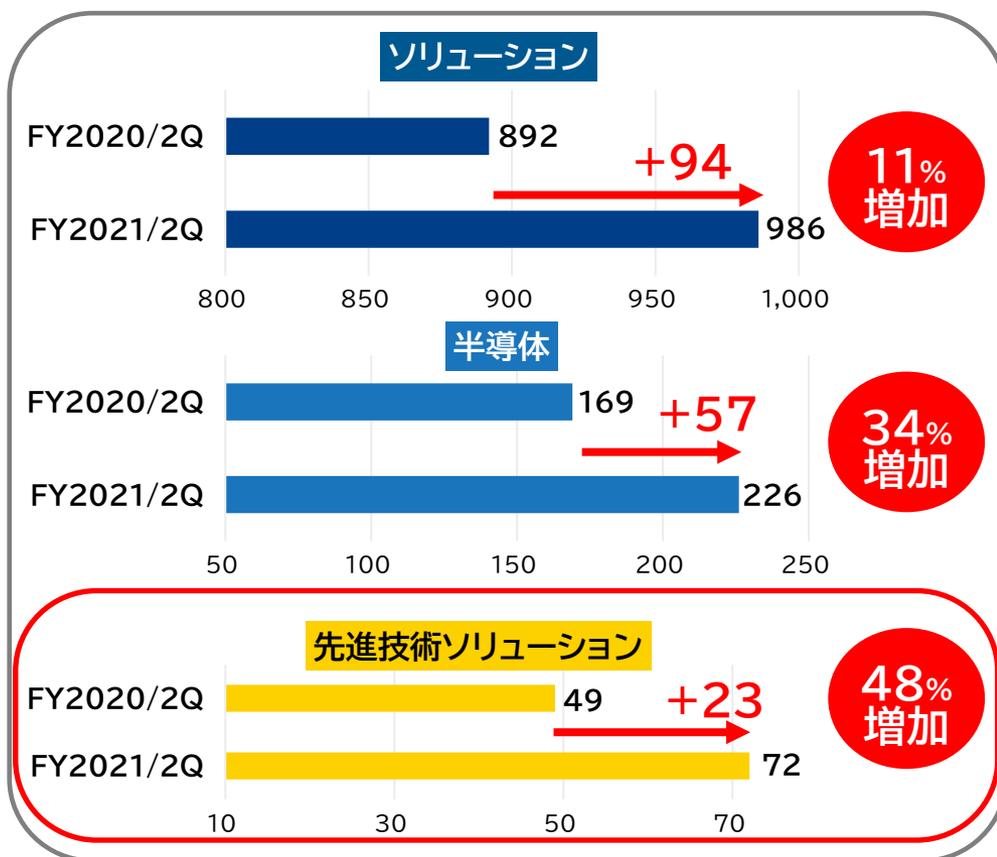
(前年同四半期比)



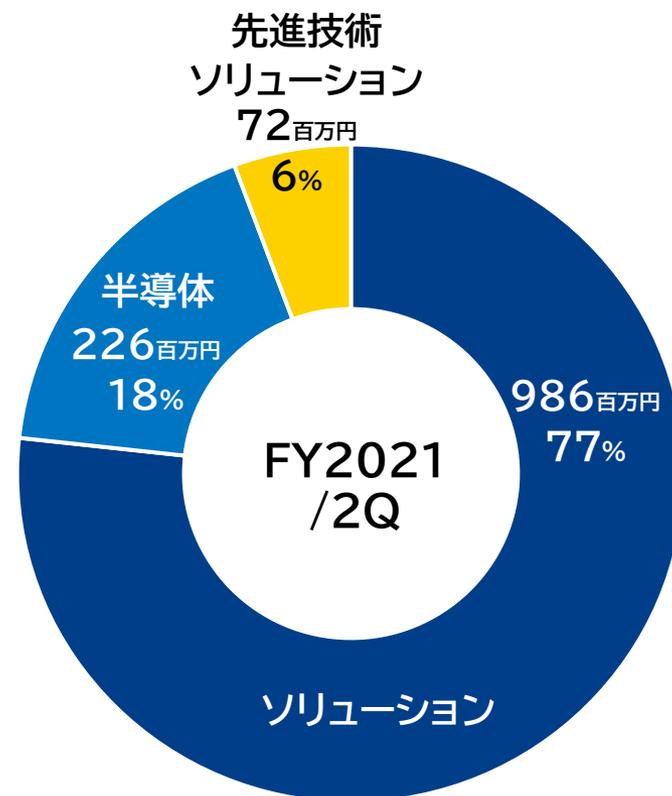
カテゴリー別売上高(FY2021/2Q)

全てのカテゴリーにおいて増収
先進技術ソリューションは**48%増加**
(前年同四半期比)

売上高(カテゴリー別) (単位:百万円)



売上比率(カテゴリー別)



(注) 当社の事業セグメントは単一セグメントです。売上高のみカテゴリー別に集計しております。

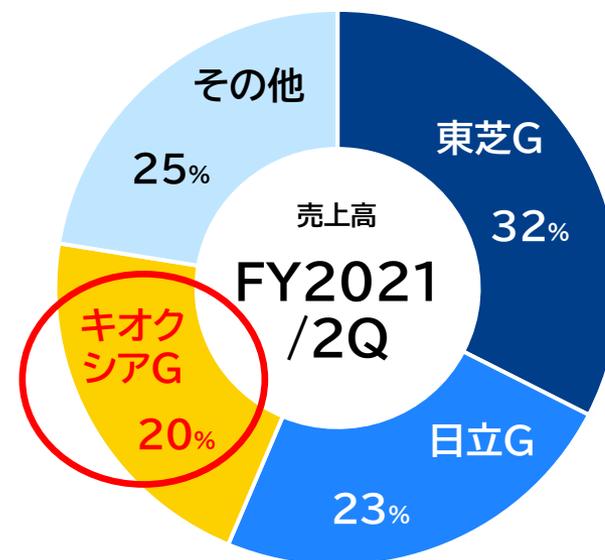
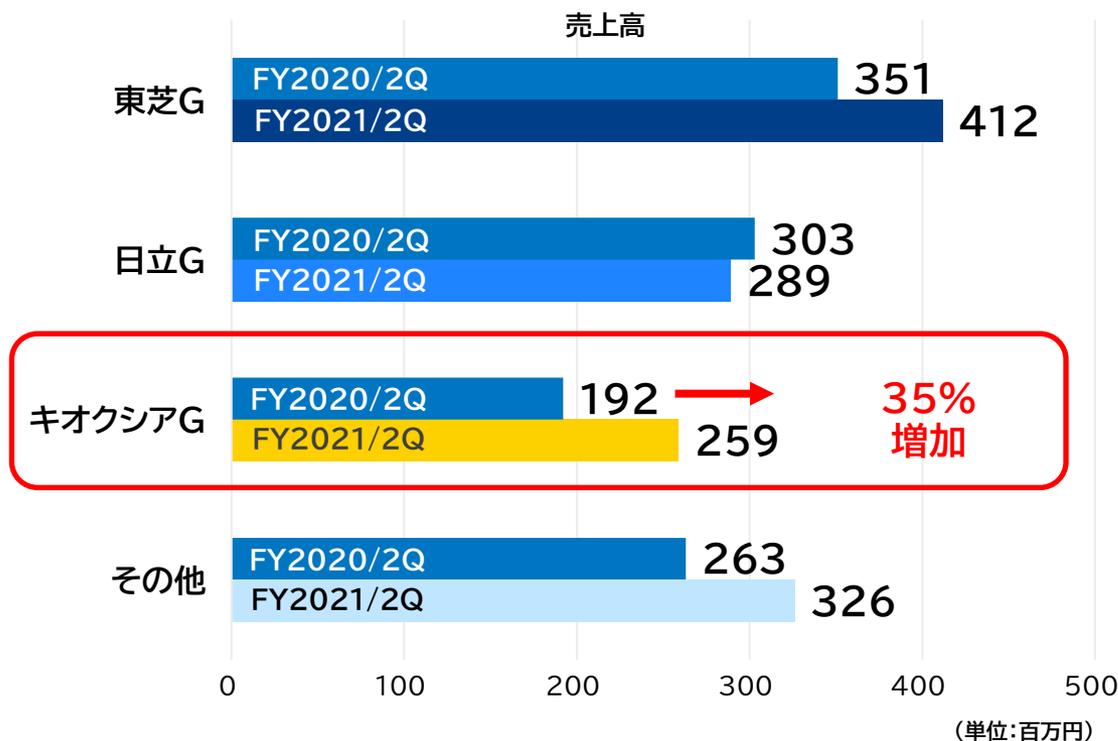
取引先別売上高(FY2021/2Q)

東芝G、日立G、キオクシアG

主要取引先は安定して推移

キオクシアGの増加が著しい

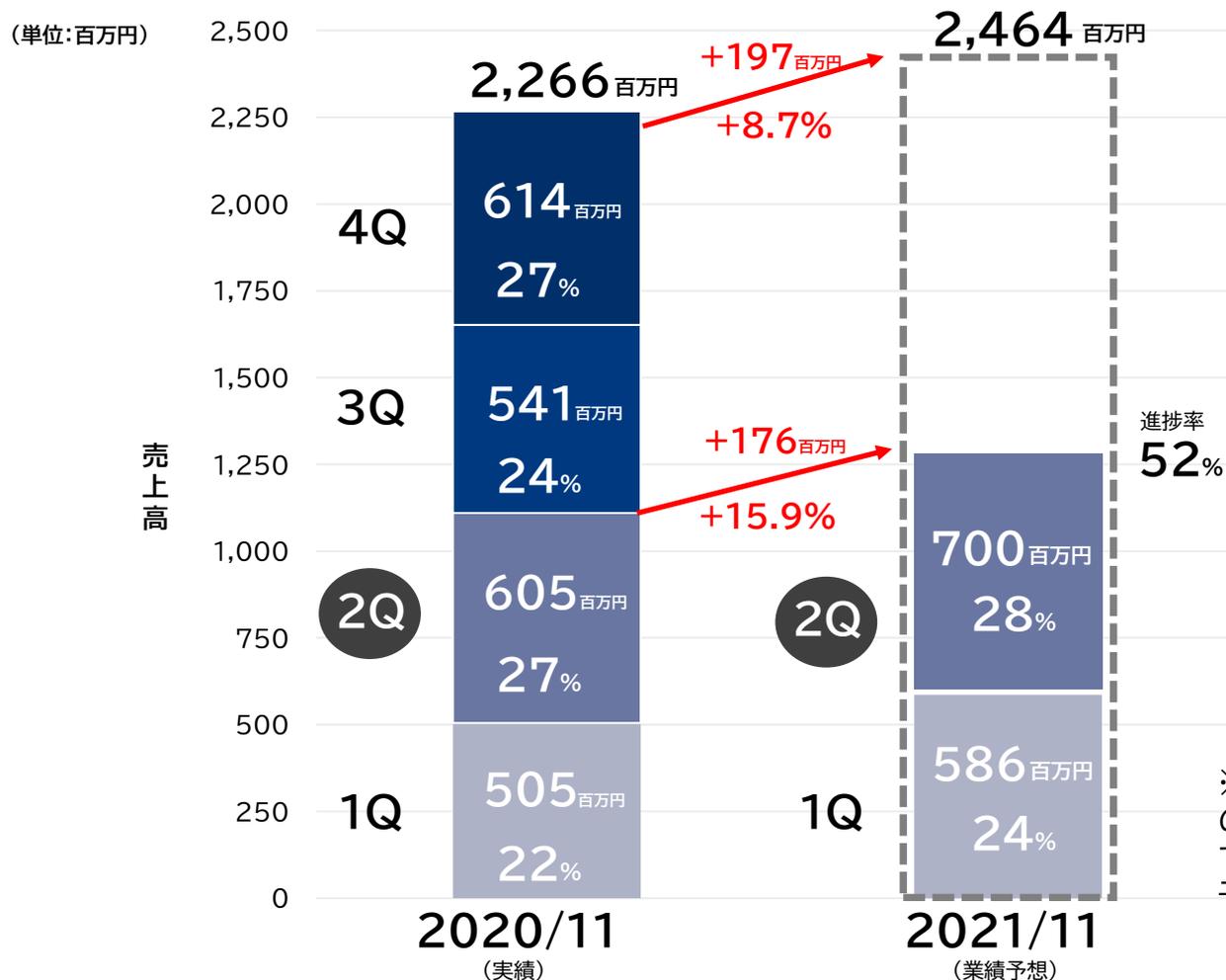
(35%増加(前年同四半期比) 構成比20%)



四半期別売上高(FY2021/2Q)

2Q累計売上高:12億86百万円

増加額: **+176百万円** **15.9%増加** 進捗率: **52%**
(前年同四半期比) (対同期業績予想進捗率)



※当社の業績には、エンジニアの増員状況や案件の納期の関係で2020/11期実績のように若干の季節変動が見られます。

(全体)主要取引先動向

(2021年7月14日現在)

当社の受注は引き続き好調であり、主要取引先全体としても好調。
各社、新型コロナの影響はあったものの今後は回復し、見通しも明るいものとなっている。

東芝G

インフラサービスカンパニーとしての安定成長を掲げ、成長分野への210億円の先行投資計画を発表するなど、当社の関連する重要分野等への好影響が期待されます。

日立G

当期増収増益を見込んでおり、IT、エネルギー、インダストリーを重点分野として成長投資を行っていくと発表しています。社会と企業経営の課題をデジタルで解決し、社会イノベーション事業を推進するにあたり当社への引合いも増加することが見込まれます。

キオクシアG

好調な半導体市場のもと、半導体の品薄が続いている状況であり、増産に向け新棟建設(四日市)や建設用地取得(北上)もあり投資意欲旺盛。工場棟増設に伴う当社による保守運用の増加が見込まれます。

採用達成率 **143%**

既に今期の採用目標者数を**143%達成** (2021年7月14日現在)

採用方針

全社員数の約10%

(年間採用者数)

全社員数:約300名

採用目標: **30名** (2021年11月期)

採用者数

採用目標 (年間)

30名

実績 (2Q末)

39名

(3Q 現在まで)

4名

合計

(2021年7月14日現在)

43名

損益計算書(FY2021/2Q)

損益計算書(FY2021/2Q)

単位:千円	FY2020/2Q	FY2021/2Q	増減額	増減率
売上高	1,110,500	 1,286,741	176,240	15.9%
売上原価	773,159	916,680	143,520※	18.6%
売上総利益	337,340	370,060	32,719	9.7%
販売費及び一般管理費	172,647	197,868	25,221※	14.6%
営業利益	164,693	 172,192	7,498	4.6%
(営業利益率)	(14.8%)	(13.4%)		
営業外収益	3,000	5,883	2,882	96.1%
経常利益	167,694	 177,985	10,291	6.1%
(経常利益率)	(15.1%)	(13.8%)		
四半期純利益	112,890	 124,877	11,986	10.6%
(四半期純利益率)	(10.2%)	(9.7%)		

※好業績による従業員への業績連動賞与25,000千円を含んでおります。

貸借対照表(FY2021/2Q)

単位:千円	2020/11末	FY2021/2Q末	増減
流動資産	1,407,497	1,572,352	164,855
固定資産	95,425	104,847	9,421
資産合計	1,502,923	1,677,199	174,276
流動負債	243,604	303,133	59,528
固定負債	46,966	50,119	3,153
負債合計	290,571	353,252	62,681
株主資本合計	1,212,351	1,323,946	111,595
純資産合計	1,212,351	1,323,946	111,595
負債純資産合計	1,502,923	1,677,199	174,276

業績予想進捗率

2021年11月期 通期

通期予想に対し順調に推移

(通期業績予想の変更なし)

単位:百万円	2020年11月期 (実績)	2021年11月期 (予想)	2021年11月期 第2四半期(実績)	進捗率
売上高	2,266	2,464	1,286	52.2%
営業利益	304	322	172	53.5%
経常利益	304	328	177	54.2%
当期純利益	236	229	124	54.4%

全社

前年実績比8.7%増の売上高、7.9%増の経常利益を予想。
営業利益率は13.1%。第2四半期(実績)では業績連動賞与の計上25百万円を吸収して13.4%。

ソリューション

主要得意先である大手企業3グループ(東芝G 日立G キオクシアG)からのシステム開発案件の受注が引き続き好調に推移。
2020年10月に開設した戸塚事業所や本社での受託開発業務の受注が増加。

半導体

好調な半導体市場を背景に、お客様の設備増強が進んでおり、エンジニア人材の供給が順調に拡大。

先進技術 ソリューション

前期より新規取引を開始した日本電気株式会社とのディープラーニング技術に関する業務や論文調査などAI関連業務が順調に拡大。

お問い合わせ先

ティアンドエス株式会社

IR企画広報部

Email / pr@tecsvc.co.jp

URL / <https://www.tecsvc.co.jp/>

本資料に掲載されている情報には、将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現や将来の業績を保証するものではありません。経済状況の変化や一般的な業界ならびに顧客ニーズの変化、法規制の変更等、様々な要因によって当該予想と大きく異なる可能性があります。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。